

(4) 船坂将来構想

観光農園ゾーン

■オーチャード・スロープ構想 (オーチャード：果樹園 スロープ：斜面)

管理できない農地が増加していくなかで、永年作物であり、主な作業が短期間であるため比較的省力でマイペースに仕事のできる果樹類を導入していき、農地の維持を図る。趣味と実益を兼ねて、直売所への販売や観光もぎとり園など有利な展開をめざす。

モモ

船坂地域では、平成10年の冬に約20a(8戸)にモモが植栽された。

主な作業(摘蕾、摘果、袋かけ、除袋、収穫等)が5月～8月の短期間に集中するが、適期に作業ができれば、おいしいモモが収穫できるのは実証済み。直売所や沿道販売により有利販売が可能。

留意点：●船坂では風当たりが強いのが難点(風当たりが強いと病気が発生しやすい)。
●防虫・防鳥ネットを設置するほうが望ましい。

◎10a当たり植え付け本数 62本(4m×4m間隔の植え付けとして)

◎10a当たり収量 2,000kg

◇ モモはきれいな花が咲くので、まとめて植え付けると花も楽しめる。

カキ

カキは果樹の中では比較的労力がかからず、有望な品種(大果で食味が良い品種、早生で着色・食味が良い品種)を植栽すれば、観光もぎとり園や直売所などで有利販売が可能。

留意点：●成園になるまでにやや時間がかかる。

◎10a当たり植え付け本数 40本(5m×5m間隔の植え付けとして)

◎10a当たり収量 1,500kg

◇ 紅葉のきれいな品種があり、街路樹的に植え付けても楽しめる。

貸し農園ゾーン

■船坂プチ・ファーム構想 (貸し農園の整備)

都市地域には、週末を利用し野菜・花づくりなどを楽しみたい都市住民が多く、各地の市民農園は足りないくらいに盛況である。

管理できなくなっている農地を集約し、貸し農園を整備して、都市住民に土や自然とふれあえる場を提供する。

●駐車場、トイレ、休憩所(東屋、ベンチ)、倉庫等の整備。

船坂地域に合った貸し農園体制の検討が大切。

景観作物ゾーン

■フラワーガーデン構想

管理できない農地に景観作物を導入し、季節の感じられる居心地の良い地域づくりをめざす。

■ふなさかファーマーズショップ構想

船坂地域の新鮮でおいしい野菜、果樹類を直接販売する。交通量の多い道路に近いので、品質を一定以上に保つことで、顧客は確保できると考えられる。広い駐車スペースを確保したい。

■環境整備

農業従者の高齢化に伴い、自宅から農地へ出かけるのも大変になってくる。農地へ出かけやすくするために、さらには地域住民が散歩したり、休憩したりできるように、道路や遊歩道の整備を行う。

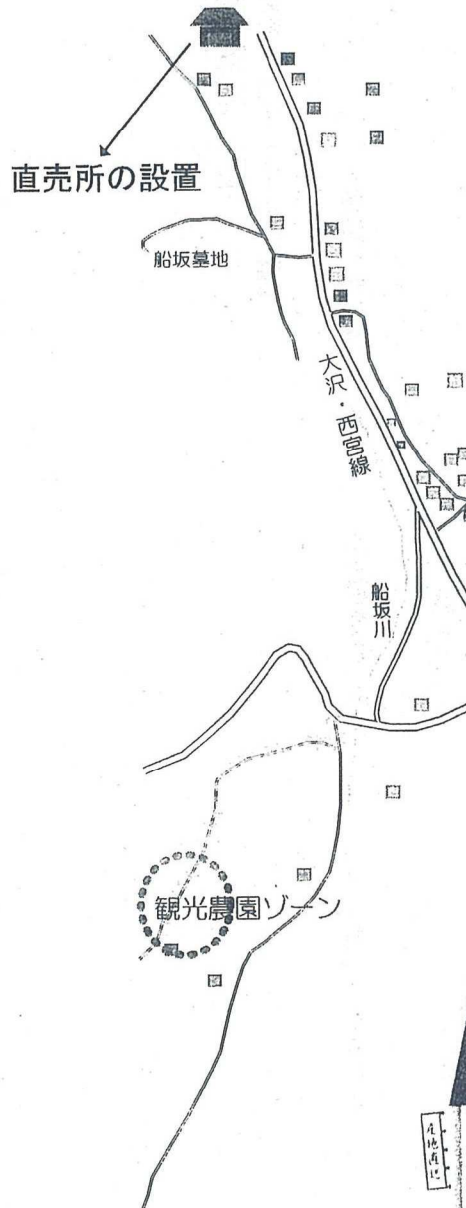
また、船坂のすばらしい景観を活かし、展望台を設置して、地域住民や通行する人々の休息と憩いの場とする。

(5) 将来構想実現に向けて

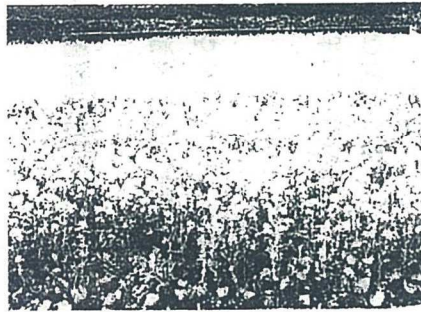
このビジョンに基づき、具体的な実践へと向かうために、今後更に検討を進めていく。

まず、地域の課題に優先順位を付け、事項毎に具体的な検討を行う。必要に応じて、集落アンケートを実施するなど地域の人々の意向を再度確認する。

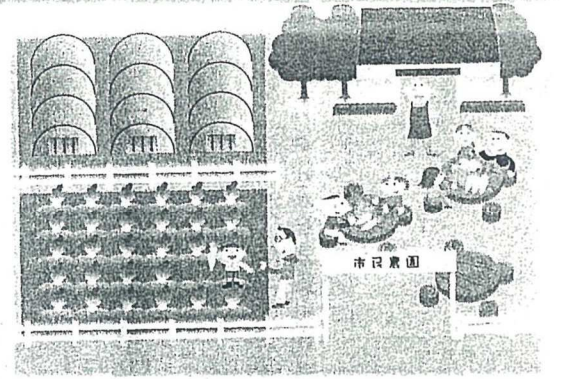
直売所の設置



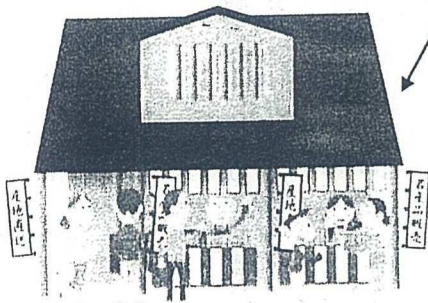
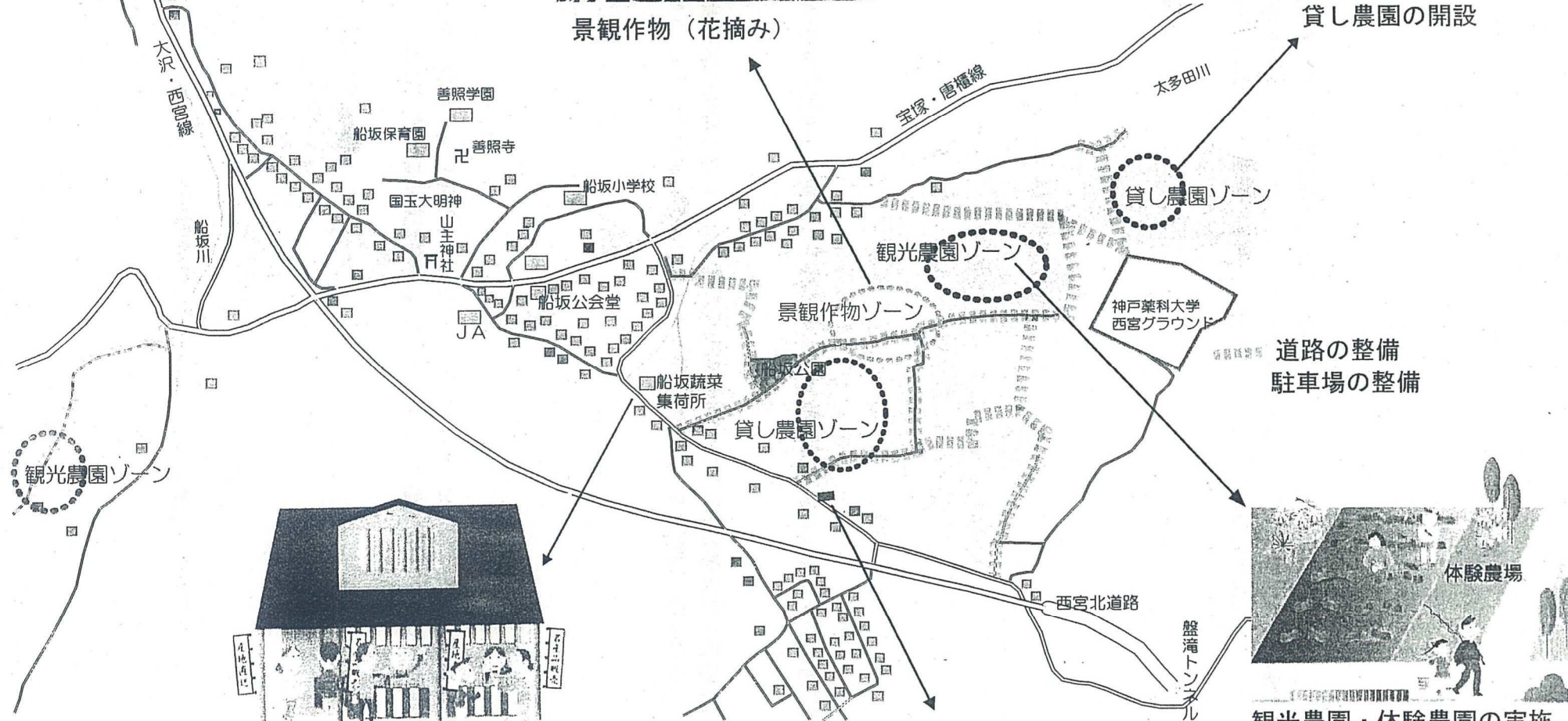
- 住居
- 住居以外の建築物
// (倉庫)
- (学校等)
- 農地



景観作物 (花摘み)



貸し農園の開設



直売所の開設

展望台の設置



観光農園・体験農園の実施 (いも掘り、果樹のもぎとり)

道路の整備
駐車場の整備